

第7回気象学史研究会〈「天気予報の自由化」25年—気象行政史の視点から〉 オンライン開催のお知らせ

気象学史研究連絡会

2020年度春季大会にあわせての開催を中止いたしました第7回気象学史研究会〈「天気予報の自由化」25年—気象行政史の視点から〉を、ご講演いただく方々のご理解ご協力を得てオンラインで開催することといたしました。

概要は下記のとおりです。参加申し込み方法等の詳細は気象学史研究連絡会ウェブサイトをご参照ください。

<https://sites.google.com/site/meteorolhistoryjp/>
学会ウェブサイト「研究連絡会」のページからもリンクされております。

○概要

第7回気象学史研究会〈「天気予報の自由化」25年—気象行政史の視点から〉

日時：2020年8月22日（土）14：00～16：00

オンライン開催

なお、やむを得ない事情により日時等を変更させていただきますこともありえます。最新情報を気象学史研究連絡会ウェブサイトに掲載いたしますのでご参照ください。

プログラム：

・「天気予報の自由化」の史的展開—行政学の観点から—

若林 悠（大東文化大学）

・「天気予報の自由化」について

横手嘉二（元気象庁）

開催趣旨・講演要旨等は「天気」第67巻第3号（2020年3月）掲載の研究会開催案内記事をご参照ください。

参加方法：参加を希望される方は事前申し込みをお願いいたします。申し込みの受付は7月末頃から開始する予定です。気象学史研究連絡会ウェブサイトでご案内いたします。参加費は無料です。

おことわり：

オンライン研究会は会場に大勢の方々に集まっていたことが難しい現状や、日頃会場への参加が容易でない方に参加の機会を広げるなど、多くの可能性があります。さまざまな理由により接続が切断されたり画像・音声が途切れたりして、十分に満足いただけるような参加ができないこともあります。あらかじめご承知おきください。

研究連絡会では、オンライン研究会に不慣れな方のため、オンライン練習会なども行う予定です。詳細はウェブサイトをご覧ください。

お問い合わせ：

気象学史研究連絡会ウェブサイトの問い合わせフォームをご利用ください。